

19 2020年、東京パラリンピックに向けた ムーブメント

○開催目的

2020年、東京オリンピックに続いてパラリンピックが開催されます。この大イベントに向けて東京はどのように変わっていくのか。街中や駅などが整備されてバリアフリー化がより進むのではないのでしょうか？

4年半後に向けてさまざまなアクションが始まっています。パラリンピック担当者からお話を伺いながら、私たちボランティアが今後どのように参加していくのが良いのかを知る機会とします。

また、パラリピアン（パラリンピック出場選手）をゲストに迎え、パラリンピックの魅力や開催地での取り組みについて色々と伺い、今後出来ることを考えていきます。

○開催日時

2月14日（日）10：00～ 12：30

○参加者数・出演者・団体

参加者数：36名（参加者29名、出演者3名、スタッフ4名）

出演者・団体：

佐藤 京子さん（2004年アテネパラリンピック 陸上女子円盤投げ 銀メダル）

秋元 妙美さん（2012年ロンドンパラリンピック ボッチャ日本代表）

齊藤 陽陸さん（東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会準備部
パラリンピック準備課 課長）

【司会】鈴木正昭（りすこ〔おおた復興支援活動連絡協議会〕）

○プログラム内容・成果と課題

1 ガイダンス

司会者より内容の紹介と注意事項

2 ほじょ犬 の紹介

登壇者の佐藤京子さんより、同行している【ほじょ犬】の紹介と、補助犬の活動などの説明がありました。

3 東京都のパラリンピック担当者からのオリンピック・パラリンピックの概要説明

プロジェクターを使用して、2020年までに東京都が予定している主な工程や、新たに建設される選手村の紹介がありました。ボランティアに関する説明など多



岐にわたる内容となりました。

4 パラリンピック出場者によるトーク

①佐藤京子さん

司会者（鈴木）の質問に答える Q&A 方式で進行
パラリンピック出場が目標となり、
選手人口が少ない競技だとその可能性が高いと
円盤投げで世界を目指した。
結果、見事に参加することができた。



佐藤京子さん

②秋元妙美さん

*ボッチャの競技説明
ボッチャで使用しているボールの紹介、
ルールの説明など
*パラリンピックに参加して
パラリンピックに出場した時の写真を
プロジェクターに投影しながら説明。
現地で休みの時に車椅子チームが集団で
移動したが、周りの方々の混乱は特に
生じていなかった。
海外のバリアフリー化は凄く進んでいると思った。



秋元妙美さん

5 登壇者によるパネルディスカッション

テーマ1 バリアフリーに関して

課題／今まで使用している体育館などは、
石畳などがあり車椅子などが通り難い
⇒整備できる場所は随時行なうが、さま
ざまな制約があり全てに対応するのは不
可。
「心のバリアフリー」で皆さんが対応を
心掛けて行くのが重要。

テーマ2 ボランティアに関して

オリンピック、パラリンピック開催に向け
て

各ボランティアの協力は不可欠。
それぞれの活動は組織化して動き出している。
ボランティア活動をしたい方は、募集要項は
今後東京オリンピック・パラリンピック準備局のホームページなどに掲載予定
なので是非チェックをお願いしたい。



○参加者の声

- 実際に活躍されたお二人の話をお聞きすることができて大変参考になりました。障がいのある方も暮らしやすい街づくり、スポーツ環境ができるよう行動したいと思います。
- 選手の方々や運営に携わる方の話を聞いてとてもよかったです！勉強になりました！
- 今まで知らなかったことを知ることができ、一市民としてだれもが生きやすい社会にしていかなければならないと思いました。
- 障害をもった方の介助を、すべての人が普通にできるようになることが、東京オリンピックの成功につながると思いました。
- 内容が大変素晴らしかったです。時間が少し長いように感じました。
- 初めてパラリンピアンのお話を聞きました。私の心のバリアがフリーになった感じです。

○担当者・記録

《担当》	鈴木 正昭（りすこ〔おおた復興支援活動連絡協議会〕）
《運営サポート》	阿部 恵美子（調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター）
	上岡 夏海（社会福祉法人白十字会 白十字ホーム）
	高橋 義博（調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター）
	土屋 弦（明治大学 法学部）
	榎本 朝美（運営ボランティア）
《記録》	鈴木 正昭（りすこ〔おおた復興支援活動連絡協議会〕）